

平成 29 年度市自委第 3 号協働パイロット事業

「持続可能な授産製品 P R 活動のための基盤整備事業」業務

報告書

cocore

1 委託事業の名称

平成 29 年度市自委第 3 号協働パイロット事業

「持続可能な授産製品 P R 活動のための基盤整備事業」業務

2 事業の目的・趣旨

障害福祉サービス事業所（就労継続支援等）からの授産製品や関連するイベント等の情報発信における「SNS (facebook)」活用を定着させることで、PR 活動の効率化を図り、事業所を利用する障がい者の工賃の向上（授産製品の販売促進）に寄与すること

3 事業期間 平成 29 年 5 月 29 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

4 実施箇所 静岡市内

5 事業実施内容の報告

(1) Facebook に参加する事業所の募集

静岡市内の事業所の職員を対象に、facebook の活用を促し、参加する事業所の増加を図るため、資料を作成した。(資料 1 参照)

平成 29 年 9 月 1 日静岡市障害者福祉課より静岡市内の事業所に配信をおこなった。

(2) 研修会の開催

対象者；Facebook の運用に参加する事業所の職員

内容；より効果的な情報発信を可能とするため、Facebook の運用に参加する事業所職員に向けた発展的な研修会を開催し、知識、技能の習得を図る。

① 第 1 回 Facebook の基礎知識と活用の仕方

日時：9 月 21 日（木） 13:30～15:30

場所：ペガサート 7 階/B・nest(ビネスト)小会議室

(静岡市葵区御幸町 3-21 セノバの隣です)

講師：加藤忠宏 (有) アイ・リンク・コンサルタント

参加事業所：1. マミー・ケア・サポート友の風 保坂 千佳子

2. ラポール・タスカ 大河内こずえ

3. ラポール・タスカ 郷田美映

4. ラポール・タスカ 宮本裕介

5. ALUKU 和田由美子/青木奈緒

6. ラポール安倍川 増田春菜

- 7. ラポール・ファーム バンダーヒューエル周子
- 8. ラポール川原みなみ 深見智史
- 9. フリーダム 磯部健児
- 10. フリーダム 杉山晃
- 11. ゲイン 矢野雅一
- 12. ゲイン 矢野直子
- 13. ラポール川原 松岡純

内容：○パソコンを1人1台使用し、実際に facebook の画面を触りながら研修
 Facebookによる経営戦略・授産製品 PR について
 配布資料(資料2～5参照)
 ○質疑応答



② 第2回 商品写真の上手な撮影の仕方

日時：10月16日（月） 13:00～15:00

場所：城東保健福祉エリア3階 第3研修室

持物：事業所の代表的な授産製品、デジカメまたは 아이폰

講師：望月やすこ（カメラマン）所属：フォーシーズン

参加事業所：1. マミー・ケア・サポート友の風 保坂 千佳子

2. ラポール・タスカ 大河内こずえ

3. ラポール・タスカ 畠田美映

4. ラポール・タスカ 宮本裕介

5. ALUKU 和田由美子/青木奈緒

6. ラポール安倍川 増田春菜

7. ラポール・ファーム バンダーヒューエル周子

8. フリーダム 磯部健児

9. フリーダム 杉山晃

10. ラポール・タスカ 山本晴美

11. ラポール川原 松岡純

12. ラポール・タスカ 萩山まゆ美

13. アトリエポルト 西原まりの

内容：○カメラ・スマホによる撮影の仕方（資料6参照）

○物・人物共通の基本

○パワーポイントによる説明（資料7参照）

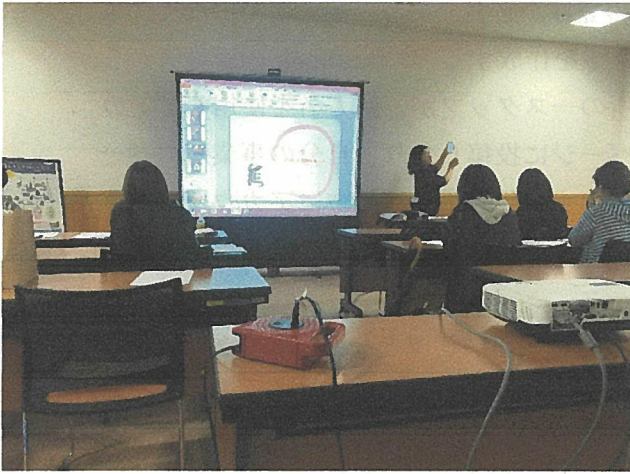
○人や行動を投稿する時に…

○人の撮り方

○質問タイム

○実践：参加者が持参した授産製品の撮り方をレクチャー





(3) ホームページ、Facebook の管理、更新状況のモニタリング

制作したホームページ及び Facebook を管理した。

また、継続した運用を可能とするために定期的なモニタリングを実施、Facebook ページ「しずおかふく福生活」には、参加事業所の投稿をフォローし、シェアしたり、コメントしたりし、随時モニタリングを行った。

(4) 事業の評価及び成果報告

事業実施に関する評価及び報告を行うために、市民自治推進課が開催する「市民活動レビューin Shizuoka2017」に参加し、そこでホームページや Facebook の認知度合を図り、各広報媒体の有効性を図ること計画し準備したが、悪天候によりイベントが中止となった。

6 実施の結果

(1) 協働の効果

市と協働したことにより研修の通知や会場の確保などを団体が独自に取り組むよりも効果的に行うことができた。

また、協働したことにより各福祉事業所との信頼関係や連携を効率的に築くことができた。

(2) 今後への提言

Facebook による PR 活動は、授産製品の販売拡大に大きなビジネスチャンスをもたらす。しかし、福祉事業所がそれを利用するには、以下に述べるような大きな問題があることがわかった。

Facebook アカウント作成には個人名での登録が必要である。個人名ではなく、事業所の名前を個人名のようにしてアカウントを作成すると、facebook の管理者から突然アカウント停止をされる。福祉事業所の一スタッフが、個人名を使用してアカウントをとって「しずおかふく福生活」ページに投稿したり、自分の事業所のページを作ったりするのは難しい。代表もしくは代表格を持つ方にアカウントを作成してもらう必要があるが、その協力を得ることがとても難しいことが浮き彫りにされた。

それが原因で、facebook の利用がなかなか進まない状況となっている。

今後は、福祉事業所の代表格となる人が、facebook による経営戦略を理解し実践していく必要がある。

(3) 協働相手（障害者福祉課職員）の意見・感想

【障害者福祉課の感想】

できるだけ簡単に、事業所の負担にならないように Facebook による広報に取り組むこととしたが、導入・実行するにあたって事業所は慎重な姿勢だった。

広報活動を「売る」行為の一部として重要視して、効果を上げるべく取り組もうとする意識が事業所には十分に根付いていなかった。

事業所ごとに商品の製造可能な量が異なり、その量を売りこなすためのターゲットの範囲があって、その範囲に情報を広げるためのツールとして考えた時に、初めて SNS 等の広報媒体の必要性を認識できるのだと考える。

「どれだけ作り、売って、いくら稼ぎたいか」というところから経営の全体像をイメージすることが必要だった。そうでないと、広報活動は本来業務とは関係なく、手間であるという位置づけから脱却できない。

Facebook の実際の利用について、事業所ごとに更新頻度のバラつきがあり、共同による計画的更新は実現しなかったが、積極的に投稿した事業所では、習慣化された様子だった。一部の職員だけが取り組んでいる状況を、事業所ごとにどのように評価するかも重要になると思われる。

パイロット事業として挑戦した結果、異なる経営組織が同一の看板を掲げて広報媒体を使用することは困難であると感じた。

講師から専門的な指導を受け、事業所ごとにこれからどのような広報活動を展開していくか、検討が進んでいくことに期待したい。

「しずおか福ふく生活」のページについては、存続させることとするが、更新状況によっては閉鎖するなどの対応ができるよう経過を見守っていく。

7 感想（所感）

静岡県障害者福祉課より提示のあった「授産製品展示販売店舗の周知・広報媒体の作成」という課題に対し、cocore が培ってきたノウハウが活用できると考えこの事業を応募し、今年度2年目となった。事業を進める中で、facebook の特性を理解できたからこそこの課題に気づくことができた。

今後 facebook による授産製品 PR をしていくためには、福祉事業所の代表の理解と協力が欠かせない。実際に、研修に参加した福祉事業所によっては、代表の働きにより事業 PR に成功している事業所もでてきている。

今回、facebook の効果を検証するためにイベントへの参加を計画したが、悪天候により中止となり、検証が難しくなった。

8 協働・協力機関

静岡県保健福祉長寿局 障害者福祉課

9 担当スタッフ

(1) 須田重紀 (cocore)

全体総括

(2) 名倉美紀(cocore)

研修会スタッフ

イベント準備

(3) 小林加奈(cocore)

研修会スタッフ

イベント準備

(4) 山本まちこ(cocore)

研修会スタッフ

(5) 永野裕美 (cocore)

研修会スタッフ

(6) 加藤忠宏 (有) アイ・リンク・コンサルタント

研修会講師

(7) 望月やす子

研修会講師

在从那时起，我们便开始了对这一问题的研究。我们首先从历史的角度出发，探讨了这一问题的起源和发展。我们发现，这一问题的出现与当时的社会背景密切相关。在那个特定的历史时期，人们面临着许多新的挑战和机遇，这促使他们开始思考这一问题的本质和解决之道。

在随后的研究中，我们进一步深入探讨了这一问题的各个方面。我们不仅从理论的角度进行了分析，还结合了大量的实际案例进行了验证。我们发现，这一问题的解决需要综合考虑多种因素，包括经济、政治、文化和社会等。只有通过对这些因素的综合分析和深入研究，我们才能找到解决问题的有效途径。

在研究的过程中，我们遇到了许多困难和挑战。但是，正是这些困难和挑战激发了我们的研究热情，促使我们不断探索和创新。我们相信，通过我们的共同努力，一定能够找到解决问题的最佳方案。我们的研究不仅为学术界提供了新的思路和方法，也为实际问题的解决提供了有益的参考和借鉴。

总的来说，我们的研究取得了一些重要的成果。我们揭示了这一问题的本质和规律，为问题的解决提供了新的思路和方法。我们相信，我们的研究成果将对学术界和实际问题的解决产生深远的影响。我们将继续深入研究，为揭示这一问题的奥秘做出更大的贡献。

参考文献

1. 张三, 李四. 论问题的本质与解决之道. 学术月刊, 2018, (12): 1-10.

2. 王五, 赵六. 从历史角度看问题的起源. 历史研究, 2019, (3): 15-25.

3. 陈七, 周八. 经济因素对问题解决的影响. 经济科学, 2020, (4): 30-40.

4. 吴九, 郑十. 政治环境对问题解决的制约. 政治学, 2021, (5): 45-55.

5. 冯十一, 陈十二. 文化传统对问题解决的塑造. 文化研究, 2022, (6): 60-70.

6. 孙十三, 李十四. 社会背景对问题解决的启示. 社会学, 2023, (7): 75-85.

7. 张十五, 王十六. 跨学科视角下的问题研究. 跨学科研究, 2024, (8): 90-100.

8. 李十七, 陈十八. 实证研究在问题研究中的应用. 实证研究, 2025, (9): 105-115.

9. 王十九, 张二十. 理论构建在问题研究中的重要性. 理论构建, 2026, (10): 120-130.

10. 陈二十一, 李二十二. 案例研究对问题解决的启示. 案例研究, 2027, (11): 135-145.